

学級のトラブルをうまく解決しよう

小学校中高学年

- 目的 学級のトラブルの解決の仕方について気づく。
 主体的に学級の対人関係の問題を解決する能力を身につける。
 課題解決の過程で、自他の立場や欲求を見直し、自分本来の力を発揮する。

気づく

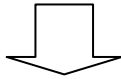
学級の問題について考える

学級内でどんなトラブルがあるかを考える。
 トラブルに対して冷静に対処することの大切さを知る。

【留意点】

- ・アンケート等からけんかやもめごと等のトラブルの具体例をあげて考える。
- ・トラブルに感情的に対処したときと冷静に対処したときの違いを実感できるように、教師が2つの場面を演じる。

学級での実態をつかむために事前にアンケートをとる。相手を攻撃するような言い方と穏やかに原因を分析するような言い方。



広げる深める

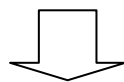
トラブルの解決方法を考えよう

冷静になるためのコツを考える。
 トラブルを解決する順序を考える。

【留意点】

- ・トラブル解決のために、
 何が問題か みんなで解決策を考える 最も適した解
 決方法を選択する 計画し、実行する 評価する
 の順で考えることを理解する。

冷静に対処することは、
 「おちつけ」と自分に言う。
 「今の気持ち」を考える。
 「どう伝えるか」考える等。
 「男子ばかりボールを使う」等のケースを設定する。



計画し、実践する

実際に試してみよう

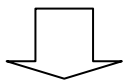
学級内でのトラブルの解決方法をいくつか考える。
最も適した方法を選ぶ。
その方法を実際に試してみる。
うまくいかない場合は別の方法で行う。

【留意点】

- ・ 課題解決に適した解決方法としては、
互いに納得できる方法
実現可能な方法
効果的な方法等を考える。
- ・ グループになり、解決方法を2つ以上考える。

解決方法例

- ・ ボールを交代して使う。
- ・ 男女一緒に遊ぶ。
- ・ クラスにボールを増やす。
- ・ 隣のクラスからボールを借りる。
- ・ ボールを使わない遊びもやる。



振り返る

感想を発表し合おう

実践やってみて、感じたことや考えたことを相手にわかりやすく伝える。
自他の立場や欲求をあらためて見直し、相互に尊重する態度の大切さを理解する。

【留意点】

- ・ トラブルを解消するために、このようなスキルを日常生活の中で生かすようにする。

評価、感想をワークシートに記入する。

【学習を進めるにあたって】

- ・ 非攻撃的自己主張（アサーティブネス）により、自分の気持ちや意見を対等に誠実に率直に表現する。自分の意見を押し通すのではなく、相手と違ったら交渉し、歩み寄ることができ、自分の気持ちや意見を大切にしながら、同時に相手の気持ちや意見も尊重する態度を育成する。